

もっと視野を広げてください。 カンパニーを導くのは制作者の 役割なのだから。

全国の制作者の方へ。進むべき道は、カンパニーの数だけあります。
その道を探り、明かりを灯すのが制作者の役割です。悩んでいるのはあなただけではありません。
同じ思いの制作者は全国にいるのです。この小冊子があなたの「きっかけ」になれば幸いです。

小劇場演劇の制作者を支援するサイト「fringe」では、地域の制作者を支援するリアルな企画として、財団法人セゾン文化財団の助成を得て、「Producers meet Producers 2006 地域の制作者のための創造啓発ツアー」(以下PmP2006)を2006年6月に実施しました。

地域の次代を担う中堅制作者を東京に無償で招聘し、普段なかなか訪れる機会のない演劇人や劇場と出会う場を提供したもので、様々な理由で他地域との交流や情報収集に限界を感じている人材にながら必要かを考え、2泊3日で刺激的な知見が得られるスケジュールを組みました。単なる東京事情の見学ではなく、自分なりの戦略・方法論を気づかせるのが狙いで、インターネット環境を駆使した予習・討議を経て、参加者が訪問先でゲストにインタビューする形式としました。講師が地域を訪れて行なう制作ワークショップとは正反対の手法です。

演劇の創造環境整備にとって、その基盤となる制作者の人材育成は非常に重要な領域ですが、それには従来の公演経験に頼った伝承ではない、新しい手法が必要です。公共ホール職員には財団法人地域創造の「ステージラボ」や社団法人全国公立文化施設協会の「アートマネジメント研修会」といった研修プログラムが存在しますが、創造環境の中心にいるカンパニーの制作者に対して、こうした実験的なプログラムが組まれたのは初めてだと思います。

この企画は、地域を本拠地にしていた私自身が、制作者としてモチベーションを高めることはなにかを突き詰めて考えた結果です。意識の高い制作者は自力でアンテナを張っているとは思いますが、短い日程でネットワークをつくることは困難です。参加者の境遇になって「こんな研鑽の場があれば」という思いで発案した内容です。

小劇場演劇が盛んな札幌、盛岡、仙台、名古屋、広島、北九州、福岡の7都市から、各2名を地元のアートセンターや制作団体から推薦いただき、一般公募の自費参加者4名を加えた計18名が得がたい経験を持ち帰りました。「これまでの人生で最も充実した3日間」という感想もあり、地域にいながら個性と存在感を発揮するヒントをつかんだ参加者たちが、新しい活動を展開してくれることを願いました。

この小冊子は、その後の参加者と事務局スタッフによる具体的活動の一部をまとめたものです。それまで全国を意識することの少なかった参加者たちが、PmP2006以降は軽々と地域を超えるようになりました。旅公演、地域間の交流企画、他地域からの受け入れなどスタイルは異なりますが、地域にあると言われる閉塞感を打破するためにも、こうしたアグレッシブな制作者が増えてほしいと願っています。

荻野達也 fringeプロデューサー

.....
fringe <http://fringe.jp/>
 遊気舎(本拠地・大阪)のプロデューサーだった荻野達也が、継承されにくい演劇制作のナレッジマネジメントと小劇場界の閉塞的状況を打破することを目的に、2001年2月開設。この分野におけるリーディングサイトとして、全国の制作者、劇場関係者、アートマネージャーなどの注目を集めている。この間、各地でアウトリーチ活動も展開。



Producers meet Producers 2006 地域の制作者のための創造啓発ツアー スケジュール

推薦協力：札幌 / NPO法人コンカリーニョ 盛岡 / 財団法人盛岡市文化振興事業団 仙台 / せんだい演劇工房10-BOX
 名古屋 / 東海シアタープロジェクト 広島 / 財団法人広島市文化財団アステールプラザ 北九州 / ビカラック 福岡 / NPO法人FPAP



- 11:30 財団法人セゾン文化財団森下スタジオ(森下)Cスタジオ集合
オリエンテーション
- 12:00 《セッション1》財団法人セゾン文化財団事務局を交えた昼食会(ケータリング)
・舞台芸術の創造環境整備を支援する同財団を紹介
- 13:00 《セッション2》根本ささ奈氏(アサヒビール株式会社社会環境推進部)
・地域を積極的に支援する同社のメセナ活動及び財団法人アサヒビール芸術文化財団を紹介
↓
- 15:00 にしすがも創造舎(西黒鴨)2Fサロン入り
《セッション3》倉迫康史氏(Ort.d主宰)
・宮崎・東京2拠点制で旋風を巻き起こし、地域を結んだプロデュース公演を展開した戦略を取材
- 17:00 《セッション4》にしすがも創造舎見学+蓮池奈緒子氏(NPO法人アートネットワーク・ジャパン事務局長)
・廃校を転用した同施設見学と、東京国際芸術祭など多彩な活動を続ける同NPOに地域の現状を取材
- 18:00 《セッション5》大西一郎氏(ネオセネライター・プロジェクト主宰、横浜演劇計画代表、横浜舞台芸術活動活性化実行委員会(SAAC)委員)
・東京に近接する横浜で、いかにアイデンティティを確立しているかを取材
- 19:00 夕食会(懇親会)
↓
- 22:00 こまばアゴラ劇場(駒場)5F稽古場入り
宿泊に関する諸注意
こまばアゴラ劇場5F稽古場とスタジオ走り穂に男女別宿泊

- 9:30 こまばアゴラ劇場5F稽古場集合
オリエンテーション
- 10:00 《セッション9》高野しのぶ氏(現代演劇ウォッチャー/ライター)
・首都圏の演劇事情をサイト「しのぶの演劇レビュー」を主宰する高野氏に取材
- 11:00 《セッション10》伊藤達哉氏(阿佐ヶ谷スバイダース制作代表)
・独自の手法で積極的な全国ツアーを敢行する阿佐ヶ谷スバイダースを取材
↓
- 12:30 カフェ(下北沢)入り
《セッション11》市川絵美氏(ザ・スズナリ主任)を交えた昼食会
・演劇の街・下北沢の劇場スタッフに、いま小劇場界に求められているものを取材
- 13:30 《セッション12》笹部博司氏(メジャーリーグ)
・りゅーとびあ(新潟市民芸術文化会館)演劇部門芸術監督でもある著名プロデューサーに取材
- 14:20 ツアー全体のまとめ、事務連絡
- 14:30 解散

目次 contents

- 04-05 北九州
《事例紹介1》人間、北村功治がツアー出発前夜に考えたこと 北九州◎北村功治 見ぶ劇場制作
- 06-07 名古屋
《事例紹介2》旅は人を育てる 名古屋◎大橋敦史 東海シアタープロジェクト代表
- 08-11 座談会
公開座談会 + Meets! 2007
札幌◎小室明子 NPO法人コンカリーニョ
福岡◎高崎大志 P/Nstage代表 / NPO法人FPAP事務局長
- 12 京都
《事例紹介3》各地へ訪れて学ぶこと 京都◎植村純子 劇団衛星制作
- 13 福岡
《事例紹介4》福岡の地域演劇支援拠点NPO法人FPAPの地域を越えた事業について 福岡◎高崎大志 NPO法人FPAP事務局長
- 14-15 仙台
《事例紹介5》なにもかもが、つながっていく 仙台◎森 忠治 演劇プロデューサー



- 9:30 こまばアゴラ劇場5F稽古場集合
オリエンテーション
- 10:00 《セッション6》こまばアゴラ劇場見学+松尾洋一郎氏(青年団制作)
・劇場内(reset-N仕込み中)を見学し、地域と関わり続けてきた青年団・こまばアゴラ劇場を取材
- 12:00 昼食(各自)
↓
- 13:40 俳優座劇場(六本木)入り
- 14:00 【観劇1】燐光群『民衆の敵』俳優座劇場(特別割引)
- 16:50 《セッション7》古元道広氏(燐光群(有)グッドフェローズ制作部)
・地域で上演を続ける燐光群に、地域のカンパニーが取るべき戦略を取材
↓
- 18:00 世田谷ハブリックシアター(三軒茶屋)入り
《セッション8》矢作勝義氏(世田谷ハブリックシアター制作部)
・公共ホールの雄として自主事業、アウトリーチ活動を続ける同劇場を取材
- 18:40 夕食(各自)
- 19:30 【観劇2】Oi-SCALE『キキチガイ』シアタートラム(特別割引)
・終演後、Oi-SCALE主宰者・制作者との挨拶
・矢作氏によるバックステージツアー
- 21:45 懇親会
↓
- 24:00 こまばアゴラ劇場(駒場)5F稽古場入り
こまばアゴラ劇場5F稽古場とスタジオ走り穂に男女別宿泊